

映画製作・配給業における労働災害発生状況（1999-2022年）

映画製作・配給業 コードNo.100101

映画製作・配給業における事故の型別労働災害発生状況（1999-2022年）

事故の型	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
墜落・転落	6	4	5	10	4	1	4	6	7	6	7	6	4	6	4	6	6	11	4	3	2	5	10	7	134
転倒	9	3	4	5	2	4	2	3	5	3	5	2	7	5	12	4	8	4	4	5		5	8	2	111
激突	2		2	5	3	1	2	5	1		3	3	1	3		1	3	1	3	1	3	2	1		46
飛来・落下		1	1	2	1	3	3	3		1	3	2	1	1		2		4	1	3	1	1			34
崩壊・倒壊	1		1	1	1				1	1	1			1	1	2	1		1		1		6		20
激突			5	2			2	1	3	1	1	2	3		1			2			1			1	25

物との接触																									
感電																									
爆発																1							1		
破裂																									
火災																			52				52		
交通事故 (道路)	2	2	3	9	1	2	3	2	1	2	1		2	2	8		3	3	1		1	1	3	52	
交通事故 (その他)		2		1		1		1								1			1					7	
動作の反動無 理な動作	4	5	9	3	4	2	5	5	1	3	2	5	9	8	3	3	2	1	8	4		3	8	3	100

物、建築物、構築物等	12	9	11	9	4	1	4	8	6	6	14	5	10	9	13	8	13	12	10	6	1	7	13	8	199
物質、材料	2		4	2	2	2	2	2	1		4		1	1		1	3	1	1	2	52		1		84
荷	2		3				2	3	1	1	1	3	1	2	2	2		1		1	3	1	4	1	34
環境等	1	1	3	4	2	2		5	1	1	1	2	2	2	2	1	2		2		1	1		1	37
その他	2	2	1	7	3	3	18	6	6	2	3	5	5	5	3	3	2	1	4	4	1	6	6	5	103
合計	33	18	36	42	19	15	36	30	24	21	25	23	30	28	34	24	28	29	27	20	63	19	41	17	682

映画製作・配給業における起因物（中）別労働災害発生状況（1999-2022年）

起因物 （中）	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計	
原動機																										
動力伝導機構																										
木材加工用機			1	1		1		1	2	1	1	1				2			1	1			1		14	

化学設備																									
溶接装置																									
炉、釜等																									
電気設備		1						1						1								1		4	
人力機械工具等	3		2	2	2		2		2	1		1	2	1		1	2	3	3	1	1	1	1	1	32
用具	4		3	2	2	1	3	2	1	4		3	4	2	2	3	2	7	1	5	2	1	5	59	
その他の装置、設備	1		1	1	1	1	1		1	2		2		2		2	1	1	1			1	1	20	
仮設物、建築物等	12	9	11	9	4	1	4	8	6	6	14	5	10	9	13	8	13	12	10	6	1	7	13	8	199
危険物、有																	2							52	54

手工具			1		1		2		2						1	1			1			1	10		
はしご 等			1				2	1	2		3	2	2	2	2	1	4	1	1	2		4	30		
玉掛用 具																									
その他 の用具			2		2		3		2			2			1	1	3		4		1	1	22		
その他 の装 置、設 備			1		1		1	1	2		2		2		2	1	1	1			1	1	17		
足場			1					1					1	1	1	1	1						7		
支保工																									
階段、 栈橋			2				1	1	2	2	4		2	1	1	4	7	4	1	2		2	4	3	43
開口部								1										1				1	3		
屋根、 はり、 もや、 けた、								1		1	1	1			1								5		

放射線																								
その他の危険物、有害物等																1								1
金属材料			2		1					2						1	1							7
木材、竹材			2		1		1	2		1			1				1	1				1		11
石、砂、砂利													1											1
その他の材料							1		1		1								2					5
荷姿の物			3				2	2		1	1	2		2	2	1			1	2	1	4	1	25
機械装置								1	1			1	1			1		1			1			7
地山、岩石					2			1	1	1	1		1				1		1			1		10

立木等							1					1											2		
水			1				1																2		
異常環境等																									
高温・低温環境																1		1		1			3		
その他の環境等			2				2				2		2	2	1							1	12		
その他の起因物						16	4	4		1	1	1	1		1		1		2	1	2	2	2	39	
起因物なし			1		3	2	2	2	2	2	4	3	4	3	2	2		4	2		4	4	3	49	
分類不能												1											1		
合計	33	18	36	42	19	15	36	30	24	21	25	23	30	28	34	24	28	29	27	20	63	19	41	17	682

映画製作・配給業における年齢別労働災害発生状況（1999-2022年）

者規模	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	計
9人以下	7	5	7	7	3	3	4	4	2	6	7	4	4	6	5	7	9	1	5	5	3	3	6	2	115
10人-29人	6	4	7	16	5	6	6	7	4	5	4	5	5	7	10	4	6	4	5	4	3	4	13	5	145
30人-49人	4		11	2	1	3	4	2	3	2	2	3	5	6	8	3	2	6	4	6	1	1	4	1	84
50人-99人	8	3	6	11	5	2	16	9	3	3	9	5	3	7	7	4	3	6	5	1	52	6	10	4	188
100人-299人	8	4	4	5	4	1	6	5	5	3	2	4	8	1	2	5	6	11	6	4	4	3	7	3	111
300人以上		2	1	1	1			3	7	2	1	2	5	1	2	1	2	1	2			2	1	2	39
合計	33	18	36	42	19	15	36	30	24	21	25	23	30	28	34	24	28	29	27	20	63	19	41	17	682

映画製作・配給業における月別労働災害発生状況（1999-2022年）

北海道			1				2	3		1	1	1	1	2	3	2	2	1	1	3	1	1	2	1	29	
青森																							1		1	
岩手																							1		1	
宮城										1					1	1			1				2		6	
秋田															1								1		2	
山形																	1								1	
福島																										
茨城																										
栃木																										
群馬																			1						1	
埼玉			2		1				1	1	1		1	1		1				1						10
千葉							1	1																		2
東京	11	5	20		10		7	5	10	10	13	16	15	14	24	14	15	23	18	9	8	9	22	9	287	
神奈川	1	2					2	1	2		2		2	1			2		2	1			3	3	24	
新潟		1												1						1						3
富山								1																		1
石川										1													1		2	

徳島	1																								1
香川																	1					2			3
愛媛																		1	1						2
高知													1												1
福岡	4		4				1	1	3	1	3	1	1		1	2	1	2		1					26
佐賀																							1		1
長崎														1									1		2
熊本	1							1		1			3				1				1			1	9
大分																									
宮崎							1			1															2
鹿児島																									
沖縄	1	1						1																	3
合計	33	18	36	42	19	15	36	30	24	21	25	23	30	28	34	24	28	29	27	20	63	19	41	17	682

休業4日以上の労働災害（職業性疾病を含む。）を計上。2022年のデータは新型コロナ罹患を含まない。2021年、2020年のデータは新型コロナ罹患を含む。2011年のデータは東日本大震災による労働災害を含む。

出典: <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html> (職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202306_01.htmlに戻る。

運搬機 械																							
その他 の装置 等																							
仮設 物、建 築物、 構築物 等			1										1								1		3
物質、 材料																			36				36
荷																							
環境等																				1		1	2
その他								1									1						2
合計			1	3		1		1				1	1			1	1		36	1	2	1	50

映画製作・配給業における起因物（中）別死亡災害発生状況（1999-2022年）

起因物 （中）	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合 計
------------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	--------

備																								
仮設 物、建 築物等			1										1									1		3
危険 物、有 害物等																			36					36
材料																								
荷																								
自然環 境等																					1		1	2
その他 の起因 物																								
起因物 なし								1									1							2
分類不 能																								
合計			1	3		1		1				1	1				1	1		36	1	2	1	50

能																										
合計			1	3		1			1				1	1					1	1		36	1	2	1	50

映画製作・配給業における年齢別死亡災害発生状況（1999-2022年）

年齢	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計	
19歳以下				1																						1
20歳-29歳			1	1														1	1		17		1			22
30歳-39歳				1		1			1				1								11					15
40歳-49歳														1							7					8
50歳-59歳																						1				1
60歳以上																					1		1	1		3
合計			1	3		1			1				1	1					1	1		36	1	2	1	50

映画製作・配給業における死亡者規模別死亡災害発生状況（1999-2022年）

労働者規模	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
9人以下				1									1	1								1			4
10人-29人			1	1																					2
30人-49人						1												1							2
50人-99人																					36		2		38
100人-299人																			1					1	2
300人以上				1					1																2
合計			1	3		1			1				1	1				1	1		36	1	2	1	50

映画製作・配給業における月別死亡災害発生状況（1999-2022年）

徳島																									
香川																									
愛媛																									
高知																									
福岡			1																				1		
佐賀																									
長崎																									
熊本																									
大分																									
宮崎																									
鹿児島																									
沖縄																									
合計			1	3		1			1				1	1				1	1		36	1	2	1	50

出典: <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html> (職場のあんぜんサイト)

映画製作・配給業における死亡災害事例（1999-2021年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事故 の型	労働者 規模
2021	10	12 ～ 14	被災者は本件事業場の建屋内において、委託業者による清掃作業の立ち合いを行っていた。当該業者による清掃作業が終わり、業者が帰り被災者一人となった。その後被災者が家に帰らないと家族から会社に連絡があり、事業場担当者が事業場を訪れたところ、被災者が建物内部の玄関付近で倒れているところを発見したもの。	階段、 栈橋	墜 落・ 転落	50 ～ 99
2021	10	20 ～ 22	自動車出張先から会社へ移動していたところ、何らかの理由によって車体が振られ、道路左側のガードレールおよび防音壁に衝突した。その際に後部座席に乗っていた被災者が車外へ投げ出され、横転した車体の下敷きとなり、病院へ救急搬送されたが死亡したもの。（なお、当該自動車には被災者含め4名が同乗していたが、被災者以外の者についてはいずれも軽傷とのことであった。）	乗用 車、バ ス、バ イク	交通 事故 (道 路)	50 ～ 99
2020	6	10 ～ 12	被災者が、磯（高さ5m程度）にて、釣り番組の取材のため釣り人がイシダイを釣り上げている状態を撮影し、撮影場所を変更するため移動していたところ、バランスを崩し墜落した。	地山、 岩石	墜 落・ 転落	1～ 9
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	引火性 の物	火災	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	引火性 の物	火災	50 ～ 99

		12		の物		99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	引火性 の物	火災	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	引火性 の物	火災	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	引火性 の物	火災	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	引火性 の物	火災	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	引火性 の物	火災	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	引火性 の物	火災	50 ～ 99
2019	7	10 ～ 12	事業場に男が侵入し、ガソリンを撒いて放火した。	引火性 の物	火災	50 ～ 99
		14	被災者が仮眠場所として借り受けていたマンションの一室を被災者の父親が確認したところ、被災者が死亡していた。	起因物	その	100

2017	1	～ 15	警察による検死の結果、脳出血による死亡と確認された。	なし	他	～ 299
2016	5	7 ～ 8	撮影作業（前日）を終え、翌朝、宿泊先のホテルから関係者4名がワゴン車に乗り合わせ戻る途中、自動車道上り線（3車線の中央車線）にて、故障により停止中のダンプトラックに追突し、後部座席に乗っていた被災者が死亡した。	乗用 車、バ ス、バ イク	交通 事故 （道 路）	30 ～ 49
2012	10	17 ～ 18	被災者はサーキット内のロケハンを行っていた最中にピットの上部にある2階テラス（高さ約6m）から墜落し、頭部を強打し死亡した。	建築 物、構 築物	墜 落・ 転落	1～ 9
2011	12	4 ～ 5	被災者の運転するトラック（4 t）が、追い越し車線から走行車線に車線変更した際、走行車線側のガードレールに接触、その後前方の車両に追突したため、その場に停車。携帯電話で事故の報告をした後、トラックを路肩に移動しようと乗り込んだ直後、後方から走ってきた車両がトラックに追突し、被災者はフロントガラスに頭を強打し、即死したものの。	トラッ ク	交通 事故 （道 路）	1～ 9
2007	4	14 ～ 15	映画の宣伝・配給の業務をしていたが過度な仕事量と責任、労働時間であったため不眠などの症状がみられたので、業務量が軽減されたがその後、別会社へ出向したところ労働時間が増え、休日出勤も増えて強い心理的負荷を受けビルの屋上から飛び降りた。	その他 の起因 物	その 他	10 ～ 29
2004	3	9 ～ 10	ヘリコプターに搭乗し、上空からカメラ取材していたところ、ヘリコプターが地面からの高さ150mの架空電路（77000V）の1本に接触し、機体の一部を損壊し、バランスを失って墜落した。	その他 の乗物	交通 事故 （そ の 他）	30 ～ 49

2002	10	15 ～ 16	放送局の取材班3人とパキスタン人の運転手の乗った車が、道路から100m下の川に転落し4人とも死亡した。	乗用 車、バ ス、バ イク	交通 事故 (道 路)	10 ～ 29
2002	10	15 ～ 16	放送局の取材班3人とパキスタン人の運転手の乗った車が、道路から100m下の川に転落し4人とも死亡した。	乗用 車、バ ス、バ イク	交通 事故 (道 路)	300 ～
2002	5	6 ～ 7	9名乗りワゴン車に7名が乗車してイベント会場に向けて自動車で行く途中、道路左側のガードロープの支柱に激突して横転し、二列目座席に座っていた者が車から投げ出された。	乗用 車、バ ス、バ イク	交通 事故 (道 路)	1～ 9
2001	10	18 ～ 19	テレビ番組撮影のための舞台セットであるアーチ型トラス(高さ3m16cm、重さ約125kg)の転倒防止用ワイヤーのアーチ上部への取り付けで、まだ固定されていないトラスに昇降設備を使用しないでよじ登ったとき、アーチ型トラスがバランスを崩して転倒し下敷きになった。	建築 物、構 築物	墜 落・ 転落	10 ～ 29

2021年、2020年の事例は新型コロナ罹患を含む。2011年の事例は東日本大震災による労働災害を含まない。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202306_01.htmlに戻る。